

天然砥石

山から切り出した石の
多彩な色や文様に驚き

天然砥石の仕上げ砥は、2億5000万年前に赤道付近の太平洋深海底で生まれた堆積物。それが海洋プレートに乗り、年に数cm動いて日本にたどり着く。
Data 砥取家 ⑩亀岡市東本梅町大内上条20 ☎0771・26・2545



上／山へ行き、石の目を見極めて、原石を切り出す。仕事のなかで最も難しく、危険な作業。
下／切り出した原石を成形して砥石に仕上げる。



ととりや 砥取家 掘匠
土橋要造さん

大学卒業後、洋紙代理店に勤務したが、「祖父や父の背中を見てきたので同じ仕事をしたくなり、後を継いだ」。



産地や層により、色や文様も多種にわたる天然砥石。鉱物の種類の違いなどにより、約30種に分けられる。



桜石は直径5mmほど。金や銀、ピンクや青など色も多彩。桜の花びらに似た見事な文様を見せる。



用途や使う人によって 異なる天然砥石の選び方

- ① 一般向き
家庭でも使いやすい「白巣板」約18万円。
- ② 上級者向き
料理人などが愛用。「カミソリ砥」約20万円。
- ③ 日本刀向き
日本刀の波紋を出す「内曇」約15万円。

春、嵯峨野の急峻な溪谷は、山桜に染め抜かれる。その美しさを眺めつつ行く、トロッコ列車や舟での保津川下り。名勝嵐山とともにその観光の起点となる亀岡は、実は石の町でもある。天神山の麓に位置する積善寺・桜天満宮を訪れると、出合えるのは「桜石」。その名のごとく、花びら模様をしている。美しく可憐な天然石に驚かされる。

「桜天満宮の祭神は菅原道真公です。その道真公から桜樹を賜った家臣がここに植樹した。その桜は枯れてしまったのですが、代わりに地下の岩石に花紋を残したと、そう言い伝えられています」。

住職の内室・大野加津子さんは伝承を語る。道真は学問の神。学業成就や受験合格を願い、その桜石の中に納まった御札を求める人も多い。京都教育大学名誉教授で理学博士の井本伸廣さんは、亀岡で桜石が出現する理由をこう語る。

「この辺りの地層の多くは、粘土質の泥岩です。約1億年前、その泥岩に地下から上昇した花崗岩のマグマが貫入した。冷たい泥岩の中に熱いマグマが入ると、熱で焼かれた部分に新しい鉱物石という鉱物ができる。それが風化すると、断面が花びらのように見えるのです。世界的にも美しい鉱石です」。

もう一つ、石の産地・亀岡で知

られるのが天然砥石だ。現在、市場に出回る99%は人造砥石。しかし、天然砥石で包丁を研ぐと切れ味鋭く、食材の細胞をつぶさない。料理の味も格段に上がると、料理人などにはつとに名高い。

「天然砥石の採掘場は数百カ所ありましたが、ほとんど閉山しています。でも亀岡の砥脈は太く豊か。ここには2億5000万年前の中生代三畳紀と、1億5000万年前の中生代ジュラ紀の2つの砥石層があります。三畳紀の地層からは砥石のなかでも合砥が、ジュラ紀の地層からは青砥が採れます。とりわけ最も目の細かい合砥の採掘が行われるのは、現在は亀岡だけです」(井本さん)。

亀岡で砥石の採掘が始まったのは800年前。1877年創業の砥取家では、4代目・土橋要造さんが出迎えてくれた。砥石の採掘から加工まですべてを手がける。

「砥石は日本文化の原点と自負しています。料理だけでなく武士の日本刀、宮大工のカンナやノミにも砥石が必要です」。採掘する層により色や硬度が違う天然砥石は白やグレー、黄色や赤など多彩。自然がデザインした、その砥石の美に見とれる。家庭用なら1万円ほどから購入可能。亀岡での旅は、急峻な溪谷や天然石など、自然の創造物と出合う時間でもあった。

協力／京都府

桜の季節に訪れたい

森の京都「亀岡」で 奇跡の石に出会う

京都・嵐山とを結び、その絶景を満喫できる保津峡下りやトロッコ列車の起点である亀岡。桜や温泉でも有名だが、「石のまち」としても脚光を浴びている。

文／鳥海美奈子 写真／大腰和則

桜石

自然がデザインした
見事な花びらの不思議

天神山付近の土中に、きらきらと輝く姿を目撃できる桜石。桜天満宮で採れる桜石は6枚の花びらがくっきり(桜は5枚)。天然記念物に指定される。

Data 桜天満宮 ⑩亀岡市葦田野町柿花中道54 参拝自由 ⑥なし



桜天満宮の境内では、桜石の採掘や持ち出しは厳禁。社務所では、希望すれば桜石の見学もできる。左は、きらめく桜石が入った御札。

積善寺・桜天満宮 大野加津子さん

桜天満宮は曹洞宗の積善寺内にある。1190年、無極上人によりここに遷された。「4月上旬には、境内にある6本の吉野桜も咲きます」。



④ 葦田野神社
願い事を強く念じながらくぐると成就するといわれる「石の環くぐり」。石のパワーを体感。
●亀岡市葦田野町佐伯垣内亦1



③ 亀山城址
明智光秀が築城。天守台の石垣の下3段は往時のまま残る。現在は宗教法人大本の本部がある。
●亀岡市荒塚町内丸1



⑤ 湯の花温泉 溪山閣
湯の花温泉には、「桜石の霊力で退治された鬼の涙があふれた」など多くの桜石まつわる伝承がある。日帰り入浴も可能。
●亀岡市葦田野町佐伯下峠20-6



② 保津川下り
約16kmの急峻な渓流を2時間ほどかけて行く川下り。定期乗合船の運行は3月10日から。
●亀岡市保津町下中島2



① トロッコ亀岡駅
トロッコ嵯峨野駅から亀岡駅までを約25分で走る嵯峨野トロッコ。保津峡も堪能できる。
●亀岡市篠田山本地黒20-2